学校重点目標『自ら考え、表現する子どもの育成』

桜舞館小だより

令和８年１０月１９日
文責：校長　井口ルミ子

【後期スタート！一人一人の目標に向かって】

10月13日（火）から後期がスタートしました。始業式では、子どもたちに二つのことを話しました。

一つは、「自分の目標をもち、努力すること」です。本校の重点目標「自ら考え、表現する子供」や学級目標を意識し、学年の終わりにどんな自分になっていたいかを考え、後期の目標を立てて努力してほしいと伝えました。二つは、「安全・安心な学校をみんなでつくること」です。安心して自分の考えを表現するためには、互いを大切にすることが大切です。そのために、「ルールを守る」「人の話を聞く」「学校をきれいにする」「相手の気持ちを考えて行動する」「みんなで協力する」という五つのことを心がけてほしいと話しました。



その後、代表の児童が、後期のめあてを発表しました。それぞれが自分の目標をしっかりもち、頑張ろうとする意欲が伝わってきました。

一人一人が目標に向かって挑戦し、互いに支え合いながら成長できる後期にしていきたいと思います。引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【自分で考え、進んで行動する子供たち】

5年生の国語「よりよい学校生活のために」の学習後、5年2組の児童が校長室を訪れ、「廊下の歩き方がよい人を放送で紹介してもいいですか」と提案してくれました。学習したことを学校生活に生かし、自分たちで学校をよりよくしようとする姿を大変うれしく思いました。また、昇降口をきれいに掃除してくれる児童、靴箱の靴をそろえてくれる児童、トイレのスリッパを並べてくれる児童もいます。さらに、私がほうきで掃いていると、「校長先生、いつもありがとうございます。」と声をかけてくれる児童もいます。こうした子供たちの思いやりや温かい言葉に、心が温かくなります。







自分で考え、進んで行動する姿や、周りの人を思いやる心を、これからも大切にしていきたいと思います。

【教育実習生が来ています！】

10月5日（月）から30日（金）まで、本校に環太平洋大学3年生の佐田楓先生が教育実習に来ています。佐田先生は、将来、小学校の先生になることを目指しています。現在、主に３年2組で実習を行っており、子供たちとの触れ合いや授業などを通して、教師としての学びを深めています。



子供たちと積極的に関わりながら、充実した実習してほしいと思います。また、子供たちにとっても学びの多い貴重な機会になればと思っています。

【第２回学校運営協議会】

9月25日（金）に、第2回学校運営委員会を開催しました。そこで、委員の皆様に各学級の授業を参観していただき、たくさんのご意見をいただきました。



授業については、「担任と子供たちの関係が良好である」「自分の考えを理由や根拠を示しながら発表している」「板書が構造的で分かりやすい」「ノートが整理して書かれている」「モニターを積極的に活用し、学び合う授業になっている」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。一方で、「発表する際の声が小さい」といった課題もご指摘いただきました。今回いただいたご意見はすでに教職員で共有しています。今後も子供たちが自分の考えをもち、自信をもって表現できる授業づくりに取り組んでまいります。

【ミシンボランティアの皆様、ありがとうございました！】

9月28日（月）から10月6日（火）にかけて、５年生のエプロンや６年生のナップサック等の製作にあたり、地域のミシンボランティアの皆様にご協力いただきました。



慣れないミシン製作に戸惑う子供たちもいましたが、ボランティアの皆様には、子供たちができるだけ自分の力で取り組めるよう、温かく見守りながら丁寧に支援していただきました。そのおかげで、次第に子供同士で教え合い、助け合う姿も見えられるようになり、エプロンやナップサックも無事に完成することができました。

今回の学習は、自分で考え、挑戦し、友達と学び合う貴重な機会となりました。ご協力いただいたミシンボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

【認知症について学びました！～オレンジ教室～】

10月2日（金）、3年生は、地域包括支援センターの方をお迎えし、「オレンジ教室」を実施しました。ここでは、認知症についての正しい知識や認知症の方への接し方について学びました。

はじめに、みやま市の高齢者の現状や認知症についてお話を聞きました。認知症になってもできることがたくさんあることや相手の気持ちに寄り添い、温かく見守ることの大切さを学びました。



その後、グループワークでは、認知症について分かったことや認知症の方の気持ち、自分たちにできることについて考え、意見を出し合いました。

今回の学習を通して、子供たち全員が認知症ジュニアサポーターとなり、その証しとしてオレンジリングを授与されました。そして、相手の立場に立って考え、思いやりを持って行動することの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。これからも誰もが安心して暮らせる地域づくりについて考えていきたいと思います。

【ウナギの調査と稚ウナギの放流を行いました！】

10月2日（金）、4年生は、山門高校の木庭先生をお迎えし、飯江川舞鶴ふれあい公園で石倉かごを使ったウナギの調査と稚ウナギの放流を行いました。

石倉かごからは10個体のウナギが捕獲され、中には体長 57cm、重さ 277g もある大きなウナギもいました。その後、山門高校で詳しく調査していただいた結果、今回捕獲したウナギは、これまでに個体識別を行ったウナギではないことが分かりました。捕獲した10個体は、新たに個体識別を行い、川に放流されました。





また、子供たちも 71 個体の稚うなぎを放流しました。今回の活動は、身近な川の自然や生き物に関心を持ち、命の大切さや自然環境を守ることについて考える貴重な機会となりました。

ご指導いただいた木庭先生をはじめ、ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

【秘境　杣の里渓流公園での体験学習】

10月8日（木）、5年生は、八女市にある「秘境　杣の里渓流公園」を訪れ、豊かな自然の中で体験学習を行いました。



子供たちは、清流に泳ぐヤマメのつかみ取りを体験し、捕まえたヤマメを炭火で焼いていただくことで、自然の恵みに感謝するとともに命をいただくことの大切さを学びました。

また、ウォークラリーでは、班の仲間と協力しながら緑豊かな散策路を歩き、自然の素晴らしさを肌で感じることができました。

今回の活動は、人の健康、動物の健康、そして自然環境が互いにつながっていることを体験的に学ぶとともに、仲間と協力することの大切さを実感する貴重な機会となりました。

【保護者の皆様へ】

9月18日（金）は、お忙しい中、学校保健委員会・授業参観・学級懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。